

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和6年度学校評価計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	武雄市立 橘小学校
-----	-----------

1 前年度 評価結果の概要	<p>・学校評価アンケートでは、「学力向上について」「心の教育」について、児童や保護者の肯定的な回答を得ることができ、学校の方針をよく理解していただいた結果であると考えている。教職員のICTの活用により、授業改善や業務効率化につながっている。</p> <p>・志を高める教育として掲げている「ときわっ子体験活動」については、90%以上の児童が、学習した内容が自分のためになったと回答している。今年度は、コロナ禍でできなかった活動を一部実施することができ、学校・家庭・地域が連携して、ともに活動を体験することができた。この体験活動が、郷土についての真の学びとなり、学校・家庭・地域の思いを受け継ぐものになるよう、次年度も計画、実施していきたい。</p>
------------------	---

2 学校教育目標	生きる力を身に付け、学校・家庭・地域の思いを受け継ぐ ときわっ子の育成
----------	-------------------------------------

3 本年度の重点目標	ア,確かな学力を育む教育活動の推進 イ,豊かな心を育む教育活動の推進 ウ,健やかな体を育む教育活動の推進 エ,特別支援教育活動の推進 オ,幼・保・小・中連携の推進 カ,時代のニーズに対応した教育の推進 キ,家庭・地域との連携強化 ク,働き方改革の推進
------------	--

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価
---------------	------	--------

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言
				●学力の向上	○確かな学力を育む教育活動の推進	○「自分の考えを相手にわかるよう説明することができているか」の質問に対して、肯定的な回答をする児童の割合80%以上。 ○市販テストにおける5、6年生「思考・判断・表現」の平均得点が国語80点以上、算数70点以上。	・「授業づくりのステップ1・2・3」チェックシートを活用し、定期的に授業実践を振り返り、ステップ2以上を目指す。 ・家庭学習時間の目標を設定し、記録を見える化し、振り返ることができるようにする。		
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	●豊かな心についてのアンケートにおいて肯定的な回答をした児童が85%以上(児童アンケートにて)	・道徳の授業づくりに関する校内研修の実施 ・人権週間、人権集会に全職員で取り組む。						
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	●いじめ防止について、教師の組織的対応ができたという回答する職員が、80%以上(教職員アンケート)	・毎月の生活アンケートや学期1回のQUアンケートを実施し、児童の状況把握に努める。 ・毎月の児童支援連絡会で気になる事案等について共通理解を図る。						
	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童80%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童80%以上	・体験活動では、学年に応じた児童生徒に活動の見通しと学びの振り返りを行う活動を仕組む。 ・授業だけでなく、教育活動全体で生徒指導の機能を生かした取り組みの実践を行う。						
●健康・体づくり	◎体験活動を中心とした郷土について学ぶ体験活動の充実	●体験活動についてのアンケートで、郷土についての学びを得たと考える児童が90%以上。	・生活科、総合的な学習の時間における体験活動についてのアンケートを実施し、児童の変容を考察する。 ・学期末に、教職員へのアンケートを実施する。						
	●望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成	●「健康に良い食事をしている」児童生徒80%以上 ・「好き嫌いをせず食べている」と回答した児童が80%以上。(児童アンケート)	・児童に食育標語を書かせ食に関する興味・関心をもたせることで、食の重要性や感謝の気持ちを育む。 ・給食委員会の活動として、給食の月目標や季節や行事に関わる食材や栄養についての情報を発信していく。						
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	○体育的行事や健康委員会による活動の充実	●体力テストで4種目以上全国平均に達することができる。	・健康委員会によるスポーツチャレンジの実施や外遊びの奨励。 ・体育的行事に合わせ、強化週間や旬間を設定し、児童が運動に意欲的に取り組めるようにする。						
	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・タイムカードによる月の時間外在校等時間が45時間を超える職員の割合30% ・定時運動日の設定						
●特別支援教育の充実	○学校行事や会議等の精選・効率化の推進	○職員会議のペーパーレス化による効率化を図り、20%の時間短縮を実践する。	・会議、行事等の内容について、教育効果を吟味し、教育活動の精選を行う。						
	○配慮を要する児童の理解と支援体制の強化	○特別支援に関する専門性が向上したと認識した教職員が80%以上	・交流学級と連携を図り、教師の専門性を高めるための特別支援に関する研修会の実施。 ・ケース会議の実施、情報交換						

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言
				○防災教育の推進	○防災教室および大雨対応避難訓練の実施	○防災講座・集団下校後のアンケートで、「防災意識が高まった」と回答する児童80%以上。	・地域消防団を講師とする防災講座を全校児童を対象に行う。 ・定期のほか、警報発令時に集団下校引率を行う。		
○時代のニーズに対応した教育の推進	○教育におけるDX化の充実	○タブレットを活用した授業が「分かりやすい」と回答する児童80%以上。	・教科等の学習での積極的な活用を行い、教師のスキル向上研修を、年間1回以上行う。 ・情報モラル教室を3～6年生を対象に行う。						

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	・ ・ ・
----------------	-------------